



自由経済システム

令和7年1月25日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

経済活動の自由という自由経済システムは、資本における企業の構築をその生産とともに与える。

金融というライフラインは、経済とともに、社会の構築をなすものである。

経済が統制を離れ、自己の自由における活動を得ることは、生活需要への要求とともに、経済がその活動を無限に有することである。

これら経済が生活の維持を与えることは歴史とともにそれを否定できない。これが貨幣経済を与え、資本主義というルールを得るものである。

これは生存という絶対要求が存在する過去における永続性を今日経済とともに世界が有するものである。

これらは生存要求がすべての存在において自己の基盤として存在し、富はそれを保証することにおいてその価値と意味を与えるのである。

これらは経済への正しい考察であり、新しい経済システムの構築はその進歩性を、これらを基盤に要求するものである。

豊かさが生存を保証することができれば、人々はその人生の目的の追求を可能とできるのである。

これらは今日の産業革命への新しい視点である。豊かさが与える自己という現実が価値観のシフトを生むことができるのである。

これらはまた、政治における経済政策における理解の基盤として有することも可能である。

また新しい社会の構築への理解基盤であることも可能なのである。また新しい社会哲学の創造が、新しい経済システムの構築を実現することも可能である。